

研究課題名	原爆被爆者に見られるクローン性造血と造血器疾患の解析
所属	長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野（原研内科）
研究責任者	宮崎 泰司（職名：教授）
共同研究機関	<p>【研究代表機関】（検体・臨床情報収集・保存、データ解析）                  長崎大学 原研内科 教授 宮崎 泰司</p> <p>【共同研究機関】                  （検体・臨床情報収集）                  長崎大学医歯薬学総合研究科 医療科学専攻総合診療学 教授 前田隆浩                  公益財団法人長崎原子爆弾被爆者対策協議会 管理者 河野友子                  （データ解析）                  長崎大学原爆後障害医療研究所                  放射線生命科学部門 人類遺伝学分野（原研遺伝） 教授 吉浦 孝一郎                  京都大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学講座 教授 小川 誠司</p> <p>【個人情報管理者】                  長崎大学病院細胞療法部 副部長 長井 一浩</p>
研究期間	<p>本研究は長崎大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査され、長崎大学学長の許可を得て実施しています。</p> <p>長崎大学学長許可日 2021年6月29日 ～ 2025年12月31日</p>
研究目的と意義	<p>原爆被爆から60年以上が経過し、これまでの様々な研究により原爆被爆者の方に骨髓異形成症候群などの造血器悪性腫瘍の発症が多いことが明らかとなりました。しかし、なぜ被爆者の方にこのような造血器悪性腫瘍の発症が多いのか、原爆による放射線が人体にどのような影響を与えているのかはまだ解明されていません。科学技術の進歩により、近年では私たちの体の設計図とも言える「遺伝子（ゲノム）」の詳細が明らかとなり、病気の原因を遺伝子レベルで調べることができるようになりました。このような科学技術を用い、被爆者の方で造血器悪性腫瘍の発症に関わる遺伝子の異常を解明し、放射線がヒトに及ぼす影響について解明することが本研究の目的です。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さん                  原爆被爆者で「原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析」に参加された方</p> <p>●利用する情報／試料                  原爆健診で取得された年齢、性別、既往歴、検査結果などの診療情報を利用します。</p>

	<p>上記の検体・臨床情報収集の共同研究機関で採取・保存されていた検体や臨床情報も本研究に利用します。</p> <p>利用に際しては、氏名や住所などの個人情報を削除する匿名化を行い、研究用IDで検体や情報を管理します。また、必要な場合に検体や情報の提供者を識別できるよう、氏名・生年月日などと研究用IDとの対応表を作成します。匿名化および対応表の作成は既になされており、対応表は個人情報管理者により厳重に保管されます。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>「原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析」で得られた遺伝子情報と臨床情報をあわせて解析します。</p> <p>遺伝子解析の結果得られた全ゲノムの塩基配列などのゲノムデータは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）/バイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）が運営する Japanese Genotype-phenotype Archive（JGA）に一定の制限を設け保存され、同機構の審査の上許可された利用者に公開される可能性があります。またこの場合匿名化は維持されます。</p> <p>本研究に用いた検体や情報は匿名化を維持し、本研究終了後も当研究科にて保存します。</p> <p>また、本研究で解析した方の中で、研究課題名「原爆被爆者に見られるクローン性造血の解析（許可番号 20190402）」の研究対象となっている方については、本研究での解析結果（ゲノムデータを含む）や残余検体を、匿名化を維持した状態で当該研究に利用します。</p>
問い合わせ先	<p>研究に関するご質問等がある場合には下記へお問い合わせください。</p> <p>【問い合わせ先】</p> <p>長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門 血液内科学研究分野（原研内科）</p> <p>宮崎 泰司（職名：教授）</p> <p>住所：長崎市坂本1丁目12-4</p> <p>電話：095（819）7111 FAX 095（819）7113</p>